

令和7年度上大久保中学校だより

# 上中だより

## 第7号

令和7年10月31日(金)発行

### 学校教育目標

「温かい学校 感動あふれる学校」

さいたま市立上大久保中学校

〒338-0824 さいたま市桜区上大久保861-1 TEL855-3901

<http://kamiokubo-j@saitama-city.ed.jp>

## 「東京 2025 デフリンピック」

校長 <sup>たかく</sup>高久 <sup>まさゆき</sup>正行



明日から 11 月になります。徐々に気温の寒暖差が大きくなるにつれ、秋の深まりを感じられる季節となりました！この 10 月は、例年と同様ではありますが、新人体育大会、中間テスト、さいたま市中学校駅伝競走大会、合唱コンクール、つぼみの日と行事が多い月でしたが、生徒一人ひとり精一杯頑張ってくれたと思っています。10 月 24 日に行われた「合唱コンクール」には、平日開催にも関わらず多くの地域・保護者の皆様にご来校いただき、生徒たちが積み上げてきた練習の成果をご覧いただくことができました。感謝申し上げます。「Do our best～努力と思い出と最輝の和音よ届け～」のスローガンのもと、どのクラスも甲乙つけがたい素晴らしいハーモニーを体育館一杯に奏でてくれました。3 年生で最優秀賞を獲得した 3 年 4 組は、11 月 18 日の小中合同音楽会に参加することになります。また、10 月 21 日に開催された「さいたま市中学校駅伝競走大会」ですが、今年は全部で 41 名の生徒が駅伝練習に参加し、放課後等を使って切磋琢磨しながら走り続けてきました。レベルの高いさいたま市の大会の中で大いに健闘した襷リレーでした。駅伝練習を通じて得た経験を、ぜひ来年度に活かしてほしいと思います。11 月に入ると、1 年生は上野・浅草校外学習、2 年生は未来くるワーク、3 年生は進路決定に向けた取組が行われます。1・2 年生は体育祭や合唱コンクールで学んだ協力性や自主性を活かして学年行事に臨んでほしいですし、3 年生には進路決定に向けてより一層の努力を重ねてほしいと思っています。報道によると、早くもインフルエンザの全国流行が始まっているそうです。今年も冬の訪れが早いことが予想されますが、くれぐれもご自愛ください。



第 25 回さいたま市  
中学校駅伝競走大会



正門脇のマリーゴールド

さて、「東京 2025 デフリンピック（正式名称：第 25 回夏季デフリンピック競技大会 東京 2025）」が、11 月 15 日から 12 日間の日程で全 21 競技が実施され、70~80 か国・地域から約 6,000 人の選手団の参加が見込まれています。この大会の概要は以下の通りです。

国際ろう者スポーツ委員会（ICSD）の主催で 4 年に 1 度開催される世界的な規模の聴覚障害者のための総合スポーツ競技大会です。「東京 2025 デフリンピック」は、100 周年の記念すべき大会であり、夏季・冬季含めて、日本初開催となります。デフ（Deaf）とは英語で「耳がきこえない」という意味で、コミュニケーションは国際手話により行われ、競技運営上の視覚的な工夫※以外はオリンピックと同じルールで実施されます。

※視覚的な工夫の例：スタートの音→ライトの点灯、審判の発声→旗で知らせる 等

＜スポーツ庁 HP より抜粋＞

東京 2025 デフリンピックでは、大会ビジョンとして、「誰もが個性を活かし力を発揮できる」共生社会の実現」が掲げられていますが、さいたま市でも今年の 6 月に「さいたま市手話言語条例」が制定されました。この条例は、「手話が言語であるとの認識に基づき、手話の理解と広がりをもって地域で支え合い、全ての人が心を通わせ、相互の人格と個性を尊重し合う社会の実現を目指して制定された」ものです。つまり、「ろう者とろう者以外の者が共生する地域社会の実現に寄与すること」を目的としています。下記に掲載した二次元コードをご覧くださいなど、東京 2025 デフリンピックを一つのきっかけに、手話に対する理解が深まることを期待せずにはられません。ご家庭や地域でもぜひ話題に挙げていただければと思っています。

### 「手話」とは！

手指や体の動き、表情を使って、**視覚的に表現する言語**です。  
「障害者の権利に関する条約」及び「障害者基本法」において言語として明確に位置付けられました。

### ＜基本的な手話を練習してみましょう＞



「こんにちは」「お手伝いしましょうか」「ありがとう」

※さいたま市聴覚障害者協会作成 Youtube にリンクしています。